

文句ばあさん

その3

もんくばあさん



作:近藤せいけん



いつものように、通学の時はばあさんの家の前で、朝の挨拶をし、見送られて学校に行き、帰宅後はばあさんの家に弟の勇太と遊び行き、おじいさんに宿題や、勉強をみてもらい、ばあさんと畑仕事を手伝って、野菜、花の栽培の手助けをして、楽しい時間を過ごしていた。

お母さんがスーパーのパートを終わると、ばあさんの家に二人を迎えに来て帰ることが日課となっていた。

ばあさんは相変わらず、自宅の前を毎日掃き、子供達を見守り、通学路での規則を守らない、子供達には厳しい言葉をかけていた。子供達もいつしか、文句ばあさんの家の前を通る時は緊張していたが、子供の直感で以外と心根は優しい人だと解かると、自分のほうから、挨拶をするようになっていった。

「おはようございます。こんにちは。さようなら」

文句ばあさんも「はい、おはようございます。一生懸命（いっしょうけんめい）勉強するんだよ。こんにちは。気をつけてね。さようなら」

おばあさんの顔が見えると、子供達から、手を振り、笑い声があがり親しみが自然と出てきた。おばあさんの周りには、いつしか子供達の輪が自然と出来るようになっていた。

おじいさんも近頃では、病状も安定して、短い時間であれば、畑仕事を手伝えるようになっていた。

あけみちゃん、雄太の訪問を毎日心待ちにしていた。

時には二人には難しい、中国の「孟子」の言葉を話して聞かせたりした。

「言いかえ、あけみちゃん。昔の中国の人に「孟子」という偉い人がいた。その「孟子」の言葉に

「面に見（あらわ）れ、背に盗（あふる）れる」他人を判断するとき、私達は顔を見て判断してしまいがちだが、本当は背中を見てその人を判断する事が大事だ、ということを行っている。

」

「背に表れる。後光がさす、前光より後ろ姿が立派な人が本物の人とっているんじゃないよ。」

「勉強する時も姿勢はとっても大事じゃよ。あご先をしめて、背中をおこし、ますすぐ立つことが正しい姿勢」

あけみちゃんも雄太も難しい話を、正しい姿勢で聞いています。

おばあさんはニコニコ笑いながら、聞いています。

話が終わると、さあ、畑仕事です。

あけみちゃんも雄太も畑仕事が大好きです。

青空の下、作物の水やり、収穫、剪定、除草。気持の良い仕事です。

トマト、キュウリ、ナス、ピーマン、トウモロコシ、カボチャなど色んな作物が植わっています。

少しづつ、もぎ取ります。

おばあさんは鼻歌をよく歌います。

「トマト、トマト、かわいいや、キュウリ、キュウリかわいいや、ナス、ナス、かわいいや・・・」

作物の名をあげながら、手入れをし、採り入れます。

雄太もおばあさんを真似て「トマト、トマト、かわいいや、キュウリ、キュウリかわいいや、ナス、ナス、かわいいや、ドンドン、ドン」と歌います。賑やかな、畑仕事です。楽しい時間です。

収穫した、野菜の食べくらべです。

「今日のトマトはうまい、甘い。キュウリ、は水みずしくてとてもおいしい。」などと言いながら、縁側に腰掛けて、皆でお茶の時間です。

空は高く、風は優しく、どこかでセミの声が高くなり真夏の午後は過ぎてゆきます。